

BベテルH通信

2025 年 12 月号（第 269 号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 Tel089 - 925 - 5000
ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>



2025 年度 地域合同防災訓練を行いました



11 月 8 日（土）午前中、病院の駐車場にて松山東消防署の協力のもと、地域合同防災訓練を行いました。

松山ベテル病院は、同法人の道後ベテルホーム、隣接する松山エデンの園、そして近隣町内会の山田町内会、丸山町内会、伊予鉄団地と大規模災害時の防災相互協定を締結しています。地域の中で事業を展開するうえで、近隣施設、町内会と連携して地域防災力の強化に努めることは非常に重要ですので、この機会を通じて地域防災への再認識、地域交流を行っています。

合同訓練には、近隣町内会の各会長さんのご協力もあり、各町内会や地域の事業所から多くの方々が参加され、昨年より多い計 60 名以上の参加がありました。

消防隊員と一緒に、地域の子供達も参加してくれて我々職員と毛布と 2 本の棒で簡易担架を作る搬送訓練を行ったり、心肺蘇生、消火器訓練を行ったりしました。

また、展示コーナーを設け、防災グッズ紹介、非常食資料、大規模災害時の防災相互協定書を地域の方々に見ていただくこともでき有意義な地域防災訓練となりました。



（ 施設管理課 課長 入船 真 ）



人生3度目の石鎚山登拝で感じた “大丈夫”の力と支え



10月下旬、「石鎚山に登りたい」という県外の仲間と一緒に、紅葉に染まる石鎚山に登拝しました。雲の切れ間から差しこむ朝陽、木々を揺らす優しい風、澄んだ空気、堂々とそびえる山々、そして語り合う仲間。自然の中で過ごす時間は、心をゆっくりと満たしてくれました。けれど、山の道のりはとても厳しいものでした。時おり降る雨、急な坂道、滑る岩場、果てしなく続く階段、、、



体が動かなくなるほどの疲労がありました。もし一人だったら、登頂できなかったと思います。仲間の励ましや助けのおかげで、自分の限界を少し超えることができました。

登山道には、幾度も修理した木道や片づけられた倒木や落石など、人の手が多く入っています。国民宿舎や土小屋のスタッフの皆さんが、雨の日も点検や整備を続けてくださっていると聞きました。

感謝の気持ちでいっぱいです。

【早朝、石鎚スカイラインから見た石鎚山】

二の鎖の迂回路の手前で「もう無理(ここでやめる)…」と弱音を吐いた私に、仲間が「いける!」「大丈夫!」と力強く声を返してくれました。「よいしょ!」「ゆっくり!」「大丈夫!」——その声に背中を押されて、一步一步、前へ、一步一步、上へ。

そしてついに、標高1974mの弥山山頂・石鎚神社頂上社に到着! 三人そろって登拝できた瞬間、胸がいっぱいになり、仲間にも手を合わせていました。「神殿の鏡に映るのは自分。あれは自分の中の神が映っているのだよ。」その言葉の通り、仲間の中にも、

自分の中にも“神”を感じたような尊い時間でした。残念ながら、天狗岳は濃いガスに包まれて姿は見られませんでした。自然と「また来ます!」と言っている自分がいました。

歩きながら感じたのは、自然の美しさと厳しさ、人の温かさと強さ、そして弱さ。仲間の“大丈夫”の言葉がどんなに心強かったか。私の弱さも引き受けてくれて、下山するまでずっと寄り添ってくれた仲間の存在が本当にありがたかったです。



【2025.10月 石鎚神社頂上社登拝】



【2023年弥山から見る天狗岳】

私も患者さまやご家族へ、よく「大丈夫」という言葉かけをします。この言葉には、「どんなことがあっても、患者さまやご家族が困らないように、私たちチームと一緒に考え、伴走します。」という気持ちを込めています。その先には、患者さまの頑張り、ご家族やチームの一生懸命な看護・介護、温かい寄り添いが積み重なって、「なんとかなる」現実が生まれていきます。「大丈夫」という言葉には、そんな力があるように感じています。これからも、患者さま、ご家族、仲間、チームとともに、一步一步前に進んでいきたいと思っています。「大丈夫!大丈夫!」



外来における転倒予防に向けた取り組み

人はころぶものであり、いつでも誰でも転ぶ可能性があります。転倒や骨折やケガ、体の機能低下、生活の質の低下につながることもあります。だからこそ、私たちは転倒をふせぐために日々取り組んでいます。

当院で多い転倒は

- ①認知症に伴う行動による転倒
- ②せん妄（身体的な負担がかかった時に生じる一時的な意識の混乱）
- ③急激な ADL の低下に伴う転倒

自発的自立行動による転倒・転落が多く占めています。

整理整頓・安全設備の整備・必要に応じたリハビリのサポートなど、一人ひとりに合った安全対策が成されているか病棟を中心にラウンドを行っていました。

外来における転倒防止について



**いつでも・誰でも・どこでも
転ぶ可能性があります。**

次のことに注意してください

- ◇履物は、履きなれた靴ですべらないもの
- ◇雨天時の靴や傘から落ちる水滴
- ◇注射や検査などの移動
- ◇エレベーター入り口の隙間
- ◇車いすの使用時
 - ⚠ 移動時以外は必ずブレーキをかけて使用してください
 - ⚠ 姿勢が崩れていると滑り落ちることがありますので、深く座ってください



※付き添いの方は、側を離れないでください

※付き添いがなく不安な方は遠慮せずお声掛けください！

医療安全委員会

最近、外来でも転倒される方が増えました。

そこで急遽、外来のさまざまな職種に協力をいただき、『転倒防止パトロール隊』を立ち上げ、外来をラウンドして危険箇所の確認や声かけを行う取り組みを始めました。

スタッフ一同、患者さまとご家族が安心して過ごせる環境づくりに努めています。

どうぞよろしくお願いいたします。



※駐車場から、ご家族（付き添いの方）が車を置いて患者さまがお一人になられた時に転倒されるケースも何例かありました。駐車場も混み合いますが、焦らずスタッフにもご連絡いただければお迎えに伺うこともできます。よろしくお願いいたします。

（医療安全管理室 看護副部長 松井 美枝子）

外来診療日のお知らせ

◎豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）
12月10日（水） 12月24日（水）

◎12月の休診（11月25日現在）
12月11日（木）山本 祐司 医師（外科）



松山ベテル病院では、接遇目標・医療安全推進目標を掲げています

12月 接遇目標

二〇二五年 十二月の接遇目標

小さなつぶやきの中に
こめられた思いに
耳をかたむけましょう

聖愛会
接遇委員会

接遇委員会

11・12月 医療安全推進目標

11・12月医療安全推進目標

患者さまの安全を守る私たちの環境を整え
安全なケアを提供します



医療安全委員会

クリスマス燭光礼拝

日時：2025年12月8日（月）
午後2時～2時40分
場所：松山ベテル病院 2階チャペル

ご自由にご参加ください。

ベテル句会

山の青と
木々の青と

此の身も染まりそう
（美智子）



- ・投句箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
- ・『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- ・掲載中の写真についてはご本人、ご家族の許可を得ています。



発行日 2025年11月25日